

■カール・オルフ 作曲
世俗的カンタータ

カルミナ・ブライナ

尚美学園大学

音楽表現学科

第14回 定期演奏会

2017年

2月25日(土)

13時30分 開場

14時00分 開演

会場：尚美学園大学
パストラルホール

13:35より、学内成績優秀者による室内楽ロビーコンサートを行います。

- 管弦楽
尚美学園大学オーケストラ
- 合唱 (合唱指揮：仁階堂 孝)
尚美学園大学合唱団
OAPオペラ合唱団
新音楽集団 匠
- 児童合唱 (合唱指揮：澤 雅枝)
練馬区立大泉第二小学校合唱団

入場無料

入場予約が必要です

ご鑑賞をご希望の際は、裏面記載の連絡先までご予約をお願い致します

■平山 雄一 作曲 (音楽表現学科創作コース4年)

オーケストラとナレーションによる

管弦楽物語「エルマーの冒険」

創作コース学生優秀管弦楽作品(初演)

■エドヴァルド・グリーグ 作曲

劇付随音楽「ペール・ギュント」組曲より

■指揮
河合 尚市(尚美学園大学教授)





練馬区立大泉第二小学校合唱団

■管弦楽：尚美学園大学オーケストラ

尚美学園大学オーケストラは、芸術情報学部音楽表現学科管弦打楽器コース在籍学生とオーケストラ演奏員で構成されている。学科定期演奏会、年6回実施される演奏会形式公開授業、クラシックバレエのピット試演会、近隣小学生の為の音楽鑑賞教室など、学内パストラルホールをメイン会場として、大学と地域を結ぶ重要な活動を行っている。また、学外からの依頼演奏も積極的に受け入れ、中でも2012年4月、日本を代表する谷桃子バレエ団「ジゼル」全幕公演のオーケストラ演奏で新国立劇場デビューを果たし、バレエ界からも高い評価を得たことは、特筆すべき活動である。

■合唱（合唱指揮：仁階堂 孝）

尚美学園大学合唱団
OAPオペラ合唱団
新音楽集団 匠

■児童合唱（合唱指揮：澤 雅枝）

練馬区立大泉第二小学校合唱団

■ソプラノ：細谷 由香



秋田県出身。尚美学園大学卒業。同大学院を特待生として修了。声楽を山崎岩男氏に師事。2013年さいたまシテリオペラ「ハンゼルとグレーテル」グレーテル役でデビュー。他に「フィガロの結婚」スザンナ、バルバリーナ、「奥様女中」セルビーナ、「パステリアンとパステイニス」パステイニス等の役を演じる。また、モーツァルト「雀のミサ」「戴冠ミサ」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」等、宗教曲のソリストも務め好評を得る。小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXIV喜劇「こうもり」に出演。さいたまシテリオペラ演奏会員。

■テノール：朝倉 佑太



尚美学園大学芸術情報学部音楽表現学科声楽コース卒業。同大学院修了。東京二期会研修所第57期マスタークラス修了。尚美学園大学強化指定サークル新音楽集団「匠」演奏補助員。声楽を鈴木寛一氏に師事。現在まで「コジ・ファン・トゥッテ」フェランド、「フィガロの結婚」クルツィオ、「外套」テンカ、「椿姫」ジュゼッペ、「夕鶴」とひょう役を演じる。また、「雀のミサ」、モーツァルト「戴冠ミサ」、ロッシニ「スターバト・マーテル」、ベートーベン「第九」などのソリストを務め好評を得る。

■バリトン：室岡 大輝



尚美学園大学芸術情報学部音楽表現学科声楽コース4年次在学中。声楽を角丸裕、久保和範各氏に師事。1～3年次尚美学園大学声楽コース優秀者演奏会出演。これまでに、「フィガロの結婚」フィガロ、バルトロ、「魔笛」パパゲーノ、「ハンゼルとグレーテル」ペーター、「ラ・ボエーム」（ハイライト）マルチェロ役を演じる。また宗教曲ではモーツァルト「雀のミサ」、シュツ「イエスの十字架上の7つの言葉」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」等でソリストを務める。

■ナレーション：足立 紫帆



国立音楽大学声楽科卒業後、ミュージカルの世界へ。劇団四季、音楽座、ミュージカル座、東宝、劇団東少等の舞台に出演。小橋佳コンサートにバックメンバーとして参加（Piano&Chorus）。横浜YMCA主催チャリティー・コンサートで一人朗読音楽劇「種をまく人」（ポール・フライシュマン作）を上演した事をきっかけに「ウタガタリスト」（歌って物語る人）としての活動をスタート。心と心で握手がしたいという思いが強まり、自身でも物語を作るようになる。自作他作問わず、物語作品に音楽をのせて一人で弾き歌い弾きしゃべるという形式で、PTAのイベントや地域の催し、スタジオや個人宅での小さな音楽会等、コンパクトな「出張ウタガタリスト」も行っている。自主制作CD「ウタガタリスト2013」好評発売中。【OfficialBlog】足立紫帆 かめの歩みで今日も行く。。

■指揮：河合 尚市



東京芸術大学卒業後、これまでに、劇団四季ミュージカル「オペラ座の怪人」（日本初演を含む161公演）、同「ウエストサイド物語」（70公演）、東京混声合唱団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、オーケストラアンサンブル金沢、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉、東京フィルハーモニー交響楽団、東京シティーフィルハーモニック管弦楽団、東京ニューシティー管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、日本センチュリー交響楽団、大阪交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団、中国広瀋電影楽団、中国EOS交響文獻楽団、上海放送交響楽団、東京吹奏楽団、新ヴィヴァルディ合奏団、日本音楽集団の各公演を指揮。また、日本屈指のバレエ指揮者として日本バレエ協会、松山バレエ団、谷桃子バレエ団等、日本を代表するバレエカンパニーの公演を指揮。（財）松山バレエ団指揮者、（財）国際親善協会ジャパンウィーク合唱フェスティバル音楽監督、尚美学園大学および同大学院にて教授を務める。

■カルミナ・ブラーナ

「カルミナ・ブラーナ」とは、1803年にドイツ南部のポイレン修道院で発見された約300編もの詩歌集のこと。様々な言語で書かれており、怒り、恋愛、酒、パロディなど下世話な内容が多く、この修道院を訪れた学生や修道僧たちによるものと考えられています。1937年、作曲家であり教育者のカール・オルフはこの詩歌集から24篇を選んで曲を付け、大規模な合唱と独唱を従えた管弦楽作品として発表しました。冒頭と終曲に登場する『おお、運命の女神よ』は魔術的な荘厳さに満ちており、テレビ・映画等のBGMとして耳にする機会も多い人気曲です。

■劇付随音楽「ペールギュント」

自由奔放な主人公ペール・ギュントが世界中を巡る旅に出て年老いて帰ってくるまでの物語を描いたヘンリック・イブセンの戯曲「ペール・ギュント（Peer Gynt）」の舞台上演にあたって、ノルウェーの作曲家エドヴァルド・グリーグが作曲したものが本作です（1876年に初演）。グリーグが作曲した音楽は全部で27曲、上演時間約90分にもおよぶ大作でしたが、後にグリーグはこの音楽の中から4曲ずつを選び2つの組曲を編纂しました。この組曲は今日でも演奏機会が多くグリーグの代表作として知られています。本公演では、2つの組曲から抜粋して演奏いたします。

■管弦楽物語「エルマーの冒険」

この「管弦楽物語「エルマーの冒険」」は、ルース・スタイルス・ガネット作の本「エルマーのぼうけん」（原題：My Farther's Dragon）を元に作曲をした、オーケストラとナレーションのための作品です。作中に出てくる個性豊かな動物たちを、マーチやワルツ、ジャズなど様々な音楽のスタイルで描いています。またそれぞれのキャラクターごとにテーマが設定されており、物語の進行とともに音楽も変化していくので、場面を想像しながら楽しんで聴いていただくと幸いです。（平山雄一）

入場予約方法

電話または、メールにてお申し込みください。

電話

049-246-2127

メール

k-koizumi@s.shobi-u.ac.jp

尚美学園大学学生課(担当:小泉)

◎交通のご案内

お車でお越しの際はキャンパス内の駐車場（無料）にお停めいただけます。電車でお越しの際は JR・東武線《川越駅》西口または西武線《本川越駅》より、無料のスクールバスをご利用いただけます。

〈スクールバス運行時刻〉

川越駅西口発→キャンパス行き

13:00 / 13:15 / 13:30

本川越駅発→キャンパス行き

12:55 / 13:10 / 13:25

※運行時刻は変動する場合がございます。最新の時刻表は尚美学園大学ホームページにてご確認くださいませ

